





南部忠平氏に面會して

古川誠三

(前号より續き)

表彰に到り第一位に判定されたる選手は四米一五を跳躍した自らの実力を正しく認識する一歩を忍に譲ると固執してさかす自分としてその器に非ずと後度か固辞したる遂に無理押しに押し上げられ且つ又其の上に授けられたメダル返も自分の手に握り置いた。競技生活に入つてより十五年間刺々る感激と感銘に於ては完全に敗北日本の人々には申すに及ばず在伯邦人殊に激勵應援して下つた入場者方々に全く申訳なく如何御説びして下さり又スポーツロケットにも全敗し宿念に帰る足も、歩一歩銘の跡に重い感心はしきつた。眼鏡越しの眼に悲憤の熱涙を見た時には同じ民族の純血の流るる老朽の身にも全く同情の涙と禁じ得なかつた。

眞つて新練の道に惚れられたが各自の更生復興に對する不折の好カカと忍苦により現今では全く落ちつきを見せ生活面では主食の米と少々は今以て配給ではあるが自分達親子五人の家族は一月一万円(伯債一十千円)で暮らして行ける。沢田氏の話であつた。運動選手は常に物と要する(彼等監督南部氏を始め一同は一甲酒ものさず煙草もすわぬ)のである。それでお田菓子店を名物の鶴の子と羊羹を土産として贈呈した。蓋とあけるなり沢田氏は鶴の子を見て、あ、これは博多の名物名産です、菓敵と珍らしい、遠い異國で名物の菓子に目見得すると思ひもよがりたる處であつた。さういふと、お田菓子五六人の手動き早々一瞬にして空箱になりまされた。帰つて西田さんの店を訪せば、お鶴の子は博多の名物です、使命と責を果し一行の急事帰朝と祈願していただきます。

MÁQUINA PARA MATAR SAUVAS!

御贈答品一切

バカール キンク

木林辰市商店

日本品 内外雜貨 小間物 一次

陶器 全物 (銀マシリ、ハリダ、其他) 取揃

サウバ 退治器

三瓶に限る!

C. I. P 殺蟻器

ホリテクニカ 製機商會社

バスト又代理店

太郎田商店